

**働きやすい職場づくりに向けた実践**  
**大野町立東小学校**

1. 目標

- ・時間外勤務時間月45時間以内を増やす
- ・職員のタイムマネジメント力の向上を図る

2. 実践の内容

(1) 業務改善

①担任の授業時数及び業務の軽減

- ・県費加配教員（外国語専門）、町支教科指導員（音楽、図工、書写）の活用に加え、教務主任による4・5年の算数科指導、教頭による4・5年の社会科指導により、担任の持ち時間の平均は22.4時間にまで軽減することができた。
- ・毎月発行していた学級・学年だよりを廃止し、HPによる児童の活動の紹介に替えた。また、学校だよりや保健だより等、紙媒体で配付していた文書を、学校・家庭連絡システム「すぐーる」で配信することにした。

②スクールサポートスタッフの積極的な活用

- ・「スクールサポートスタッフ依頼書」を準備し、宿題の点検、会議資料の印刷、校舎の修繕や学級園づくりの支援等、様々な担任業務を積極的に支援していただいた。

③5時間授業日の計画的な設定

- ・会議や研修のある日、成績処理や個人懇談の準備などの繁忙期は、放課後の時間を確保するため5時間授業の日を計画的に位置付けた。

④教育計画ファイル「東小の教育」の作成と活用

- ・一年間の教育活動の見通しがもてるように教育計画ファイル「東小の教育」を年度末に作成し、全職員に配付、活用できるようにした。職員会議提案のための文書作成の負担軽減と指導委員会の時間短縮にもつながった。

(2) 職員のタイムマネジメント力の向上

①「集中タイム」と音楽を活用したタイムマネジメント力アップ

- ・放課後に「集中タイム」の時間帯に設定し、各自が業務に集中して取り組めるようにした。また、「蛍の光」を流し、退校時刻が迫っていることを意識できるようにした。

②退校時刻の申告による業務の効率化

- ・前の月に勤務外時間が40時間を超えた職員は、出勤時に退校時刻を申告するようにしたことで、退校時刻を意識した業務遂行ができる職員が増えた。

3. 評価結果

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月
45時間未満の職員の割合	63%	68%	47%	95%	79%	63%	84%	100%
時間外勤務時間の平均値（時間）	37.9	36.5	38.7	26.5	31.1	34.9	30.9	24.4

昨年度と比べても、45時間未満の職員の割合が増え、時間外勤務時間の平均値も2時間以上減った。

4. 成果と課題

(1) 成果

- ・2学期末の職員による学校評価では、「退校時間を意識した働き方ができたか。」の肯定的評価が100%となった。また、担任業務の軽減を進めてきたことで、担任の先生方が元気に明るく児童と向き合えるなど、心身の健康や、やりがいの実感にもつながっている。

(2) 課題

- ・PTAの会合や、生徒指導及び教育支援の保護者対応等で、やむを得ず管理職の退校時刻が遅くなることも少なくない。PTAの会合の効率化について役員の理解を得たい。